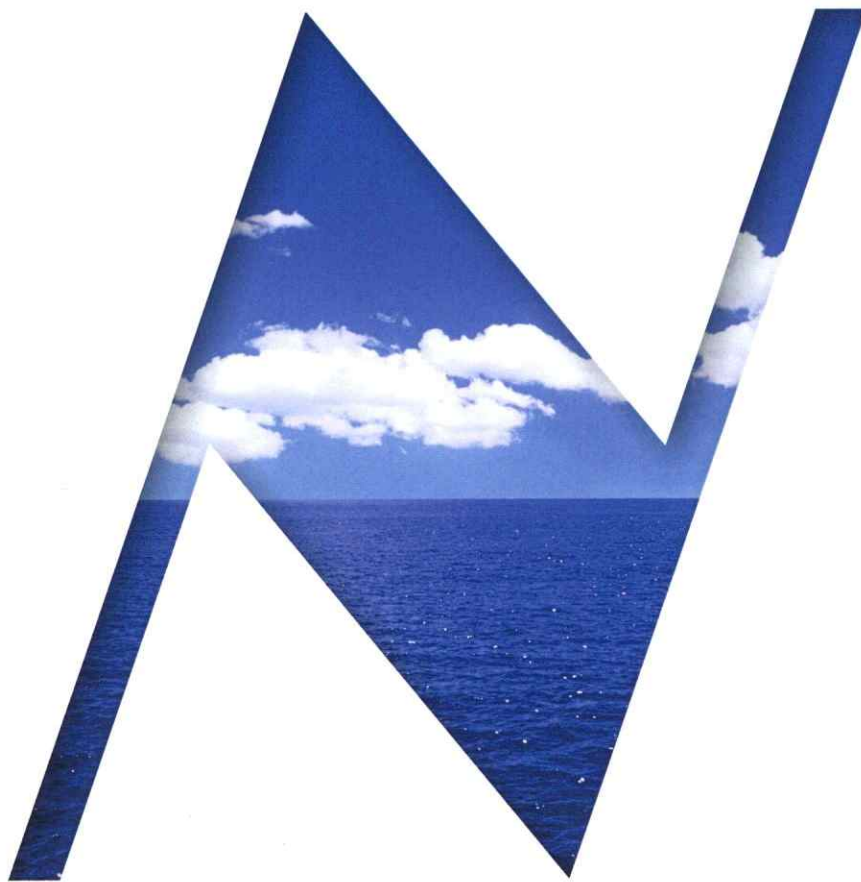


CORPORATE PROFILE

NISSUI LOGISTICS CORPORATION



人々の笑顔あふれる暮らしを支え、 お客様と社会と社員の豊かな生活を追求し続けます。



私たち日水物流株式会社は、日本水産グループの輸出入業務並びに低温保管及び配送機能を担う会社として2007年4月、東部冷蔵食品(株)と西部冷蔵食品(株)と日本水産(株)物流部門の3社が統合する形で発足をし、以来「まかせて安心」をモットーに、人々の食生活を支える「食のインフラ企業」としてその役割達成のため日々邁進してまいりました。

昨今、労働環境改善等の社会課題や新型コロナウイルス感染拡大を受けて、仕事や生活の基本スタイルそのものが大きな変化を余儀なくされている中、私たち日水物流の事業構造も、新しい成長に向けて大きく変化するタイミングに来ております。

「人々のいきいきとした生活と希望ある未来に貢献」していくためにも、地球環境への配慮を前提に、AI・DX等のデジタル技術活用による「生産性の向上」、女性活躍による「現場力の向上」、お客様や他社機能との連携による「物流課題の解決」やその結果としての「物流競争力の向上」を目指し、日々の努力・創意工夫を、従業員全員で続けてまいります。

日本水産グループの一員として、少しずつでも前進を続けていく事で社会のお役に立てる様頑張っていく所存です。今後とも日水物流をご愛顧、ご用命賜りたく宜しくお願いたします。

代表取締役 社長執行役員

新藤 哲也

会社概要

商号	日水物流株式会社 (NISSUI LOGISTICS CORPORATION)
設立	平成19年4月1日
資本金	20億円
株主	日本水産株式会社 100%
事業内容	倉庫業、貨物利用運送業、冷蔵および凍結業、魚介類・穀物 野菜類・肉類の加工および販売、通関業、不動産賃貸事業、売電事業

経営理念

人々の笑顔あふれる暮らしを支え、
お客様と社会と社員の豊かな生活を追求し続けます。

経営ビジョン

多様化する社会課題と顧客のニーズを効率的な物流プラットフォームに組立て
持続可能で価値のあるサービスを提供します。

日水物流スローガン

いつもニコニコ まかせて安心

保管型から流通型まで あらゆる温度帯に対応した 物流拠点のネットワークで全国を結びます。

日水物流の物流センターは現在16カ所で、保有設備は約38万トンに及び、温度帯は冷凍・冷蔵・常温に加え、超低温と多機能な保管が可能になっています。

これらの拠点を中心に、輸配送ネットワークは日本全国を網羅し、3温度帯をカバーする365日24時間体制のデリバリー、幹線調達物流から地域小口共同配送までを、豊富なラインナップで対応しています。

●大阪舞洲物流センター



●仙台港物流センター



●東京物流センター



●八王子物流センター



●川崎物流センター



●六甲物流センター



●小倉物流センター



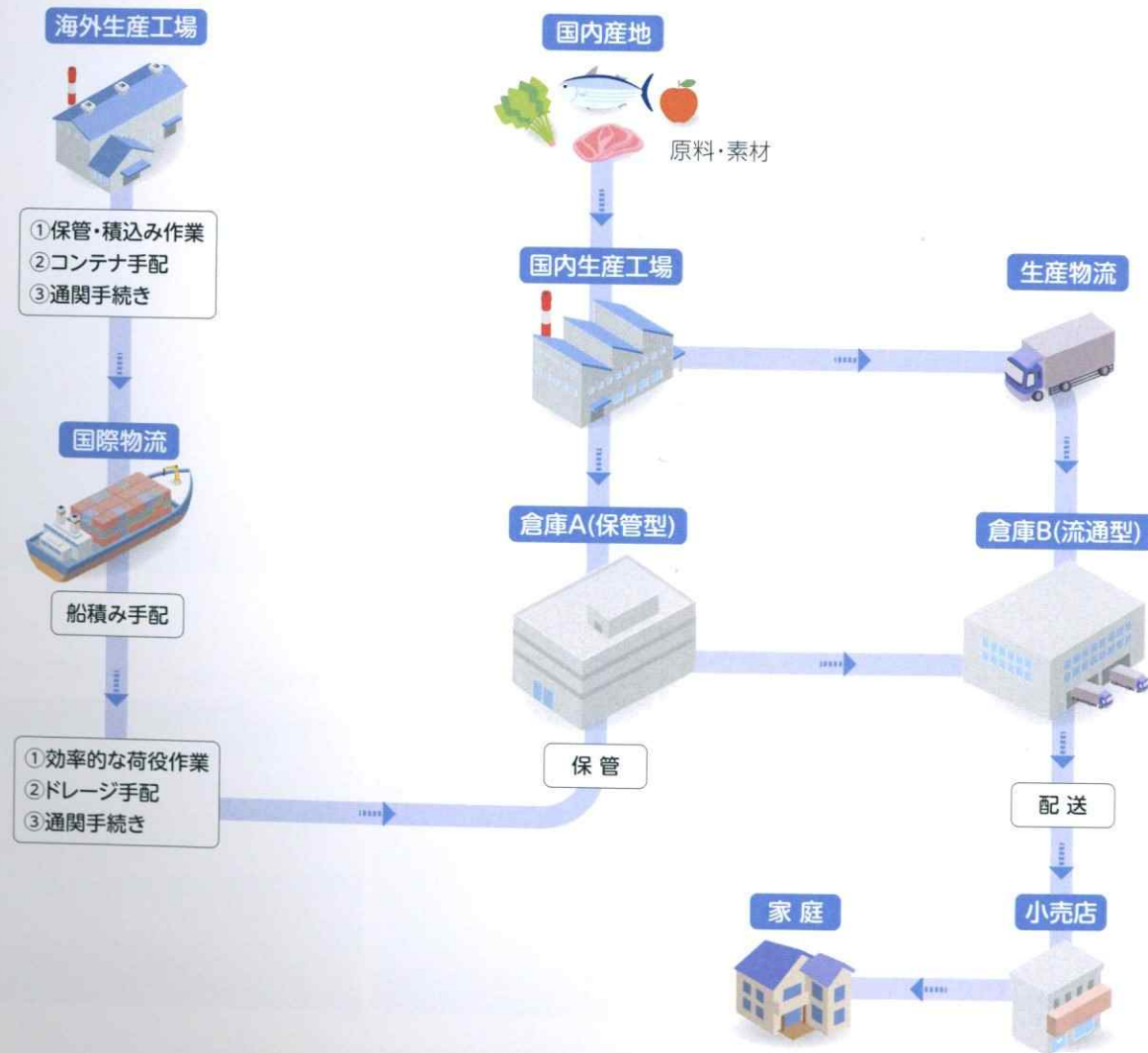
ニッスイグループの品質基準をもとに、 迅速かつ的確な、安心できる 「低温一貫物流サービス」をご提供いたします。

長年の低温食品取り扱いによる豊富な経験と実績を活かし、国内産地及び海外生産拠点を起点として、ご指定のお届け先まで、品質を維持する一貫物流サービスをご提供いたします。

・低温一貫物流サービスメニュー

輸入水産品や輸入食品取り扱いで培った経験と商品知識をもとに、マイナス50度の超低温から冷凍・冷蔵に加え常温帯までに対応した全国16カ所の物流センターで、お客様の商品をお預かりいたします。自動化された最新設備によって、ニッスイグループの品質管理基準にもとづき、多種多様なお客様のニーズにお応えし安全に管理いたします。

◎「低温一貫物流サービス」の流れ



物流センター機能

全国ネットワークの輸配送体制に最適な立地と、メーカー・小売業・卸売業・CVS・外食などの多様な業態に対応したセンター機能を有して、お客様のサプライチェーン構築をサポートいたします。

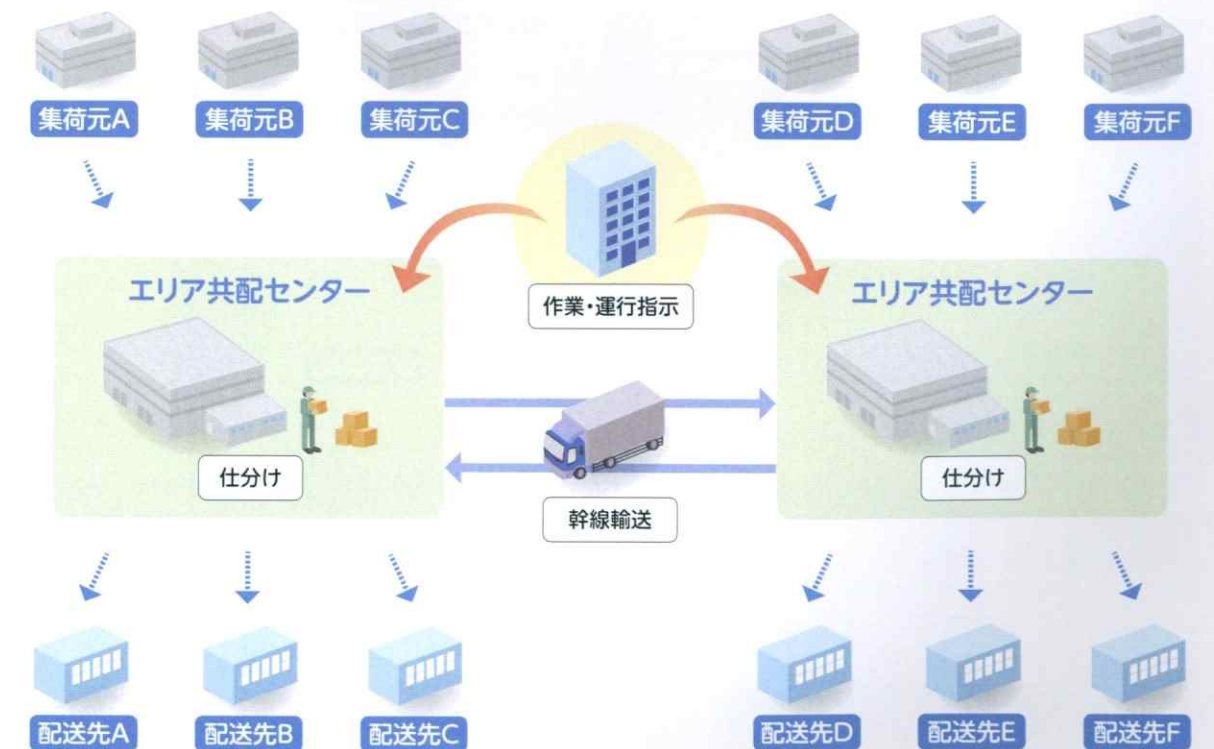


輸配送機能

北海道から沖縄まで全国をネットワーク化した輸配送体制を確立し、厳格な管理基準にもとづいた3温度帯に対応したサービスをご提供いたします。また、小ロットのご依頼にも対応可能な小口共配事業を首都圏エリアを主として展開しています。



◎小ロットに対応した小口共同配送の流れ(イメージ)



お客様のニーズに合った 国際輸送・貿易事務代行・ 輸出入通関サービスをご提供いたします。

||| 最適な国際輸送をDoor to Doorでお届け

NVOCC (第2種外航海運貨物利用運送事業) 事業者として、輸出入貿易におけるDoor to Doorサービスをお客様のニーズに合わせて構築しご提供いたします。



||| 貿易実務のスペシャリストによる 貿易事務代行サービスをご提供

輸出入貿易に必要な書類(インボイス・パッキングリスト・L/C等)の作成を代行いたします。また、関係官庁・商工会議所等への煩雑な手続きを代行いたします。

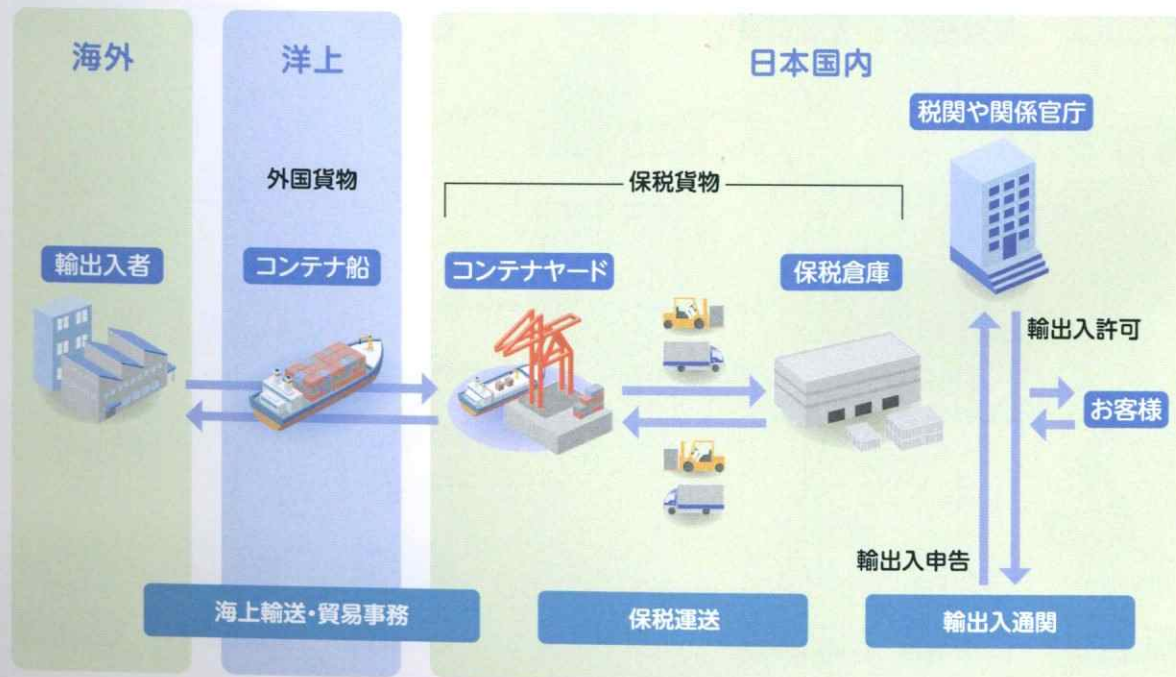


||| 正確・適正・迅速な輸出入通関サービスのご提供

長年の実績と蓄積された経験をもとに、国内すべての税関官署での通関業務および食品検疫所・動物検疫所・植物検疫所などの通関関連業務をお引き受けいたします。



● 輸出入業務の流れ



ご要望に応じた 最適なサービスをご提供いたします。

||| 全体最適を目指す...3PL機能

高品質を保ちつつ、さらなるコストダウンを図るために、お客様のパートナーとして、最適なサービスをご提案いたします。



||| 付加価値のご提供...流通加工機能

一部の物流センターでは、お客様のご要望に応じた保管以外の付帯作業にもお応えいたします。

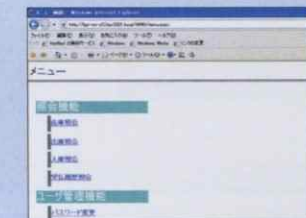
||| WEB在庫照会システム

インターネットを通じて、お客様よりお預かりしている商品情報をタイムリーに照会するシステムです。サプライチェーン全体の中で、迅速、正確な対応が可能となり、コスト低減にお役立ていただけます。

[サービス内容]

- ・在庫照会
- ・出庫照会
- ・入庫照会
- ・受払履歴照会
- ・パスワード管理

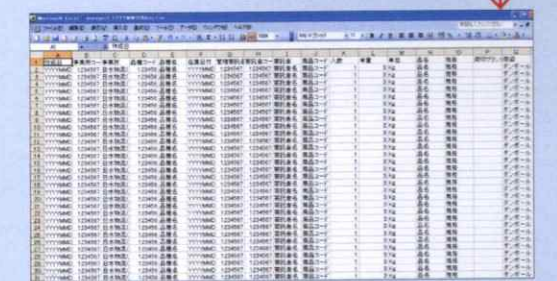
当社の複数の物流センターに在庫していただいている場合でもすべて参照が可能です。また、各種照会結果画面からすべてのデータをCSVファイルでダウンロードすることができます。



メニュー画面



在庫照会結果画面



ダウンロードしたCSVファイルの一例

お客様からの信頼に応えるための 万全な設備とセキュリティ

III 保管設備

保管温度は、冷凍貨物のF級(-25℃)を主体に、常温貨物のD級、冷蔵貨物のC級(+10℃~-20℃)・超低温貨物のSF級(-50℃)と多彩な温度帯を完備し、お客様のニーズにお応えいたします。



III 免震対応型自動倉庫

万一の災害に備えて、免震型の自動倉庫を設置する(東日本大震災時も貨物の落下なし)など、商品管理に万全の態勢をとっています。



III 荷捌空調設備

一部の物流センターでは、荷捌場に一定の温度を保つための荷捌空調設備を導入しています。また陽圧空調システムを導入しプラットフォームを陽圧化し、バースから侵入する外気を遮断、荷捌場の温度上昇を抑制しています。



III バース防熱扉

一部の物流センターでは、外気の侵入を防ぐためにバース両開き扉を導入し、更なる品質保持に努めています。



III モニタリングによる フードディフェンスとバース管理

部外者の侵入を防ぐため、カメラの設置、入館証ラベルの発行、また一部の物流センターでは顔認証システムを導入するなど、入退出時のセキュリティ強化を実施しています。



同様に、バースのリアルタイムな映像を一括モニタリングし、お客様をお待たせしない効率的なバース運用を行います。



III データバックアップ(クラウド)

クラウド上のデータセンターに、バックアップデータを保管し、有事の際のリスクを回避し、お客様の貨物を情報面からもしっかりお守りいたします。



○ たゆまぬ努力で品質を高め、満足のいくサプライチェーンを実現します。

業務品質の国際規格「ISO9001」の認証取得をはじめ、環境管理面では「ISO14001」を取得し、計画・実行・評価・改善というPDCAサイクルによる日常的な業務改善に取り組むとともに、問題発生時には再発防止活動を実施し、継続的かつ即応的なサービス向上に努めています。



ISO9001・ISO14001 適合証明証

品質方針

- ① 物流品質の圧倒的優位性を確立し、顧客のサプライチェーン構築に寄与する。
- ② 「いつもニコニコまかせて安心」のローガンを励行し、顧客満足を得る。

環境に配慮した事業活動により、 CO₂の抑制、省エネ・省資源効果など 環境負荷の低減に寄与しています。

企業の社会的責任(CSR)の一環として、環境管理の国際規格である「ISO14001」を取得し、「自然環境の保全」と「サステナビリティ(持続可能性)」の高い事業体質への転換を目指しています。積極的な投資や設備運転管理の徹底を行い、CO₂削減を実施しています。

太陽光パネル

2013年4月からは、東京物流センターにおいて太陽光パネルを敷設し、売電事業を開始しました。



(東京物流センター)

自然冷媒冷凍機と 温度管理システム

省エネ効果の高い、自然冷媒を使用した冷凍機を設置し、冷蔵倉庫内の温度センサーで24時間温度管理を行っています。



(川崎物流センター)



(大阪舞洲物流センター)

屋上緑化

遮熱効果がある屋上緑化を進めています。



(川崎物流センター屋上)

LED照明

照明機器のLED化など省エネ設備導入を進めています。



環境方針

- ① 企業の社会的責任(CSR)の一環として、自然環境の保全及び持続可能性(サステナビリティ)の高い事業体質への転換を図る。
- ② そのために、地球温暖化ガスの抑制・省エネ・省資源・減廃棄物を強化し、人と環境に配慮した物流の仕組み造りと従業員一人一人の手による環境負荷低減活動に取り組む。

■沿革

日本水産株式会社	明治44年 5月 創業
	昭和35年 3月 営業冷蔵倉庫の第一号として晴海冷凍工場を竣工、営業を開始
西部冷蔵食品株式会社	昭和53年 4月 創業
	平成6年 12月 北九州冷蔵食品株式会社と合併 平成12年 9月 近畿冷蔵食品株式会社と合併し新生「西部冷蔵食品株式会社」となる
東部冷蔵食品株式会社	昭和54年 8月 創業
	平成13年 10月 東部冷蔵食品株式会社、仙台日の丸冷蔵株式会社、丸神運輸株式会社の3社を合併し、新生「東部冷蔵食品株式会社」となる
日水物流株式会社	平成19年 4月 東部冷蔵食品株式会社と西部冷蔵食品株式会社および日本水産株式会社の冷蔵倉庫部門が統合し、日水物流株式会社となる

■関連企業

キャリーネット株式会社 〒455-0806 愛知県名古屋市港区明正1-181
(運送業) <http://www.carry-net.co.jp/>
052-381-8115

東京水産運輸株式会社 〒143-0001 東京都大田区東海5-3-1
(冷蔵倉庫の入出庫代行) <https://tousuiun.com/>
03-3790-2091



日水物流株式会社

www.nissui-logistics.jp

〒105-0012 東京都港区芝大門 2-8-13 サクセス芝大門ビル
TEL : 03-5472-6100 FAX : 03-5472-6990